

2021年5月14日

各 位

株式会社 福井銀行  
株式会社 福邦銀行**株式会社福井銀行と株式会社福邦銀行の資本業務提携契約の締結について  
～地域経済の発展に向けた包括提携（Fプロジェクト）の加速と深化～**

株式会社福井銀行（以下、「福井銀行」といいます。）と株式会社福邦銀行（以下、「福邦銀行」といい、福井銀行と福邦銀行を総称して「両行」といいます。）は、2021年1月14日に両行間で締結した基本合意書に基づき、資本業務提携契約の締結を目指して協議を続けてまいりました。その結果、本日、福邦銀行の株主総会の承認及び関係当局の許認可等が得られること等を前提として、福井銀行と福邦銀行との間で資本業務提携契約（以下「本資本業務提携契約」といい、同契約に基づく資本業務提携を「本資本業務提携」といいます。）を締結し、福邦銀行が実施する普通株式による第三者割当増資（以下、「本第三者割当増資」といいます。）を福井銀行が引受けを行うことといたしましたので、お知らせします。

**記****1. 本資本業務提携の目的・理由**

人口減少や超低金利の長期化など、金融機関を取り巻く経営環境は引き続き厳しいものとなることが予想されます。一方で、福井県は中部縦貫自動車道の全線開通や北陸新幹線の敦賀延伸といった地域の発展につながる交通インフラ整備にかかる大きなイベントを控えています。

両行は、長きにわたり、共に福井県を主たる営業基盤とし、地域のみなさまに支えられながら活動してまいりました。それぞれが「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」、「幸せな人間生活と豊かな社会づくりへの貢献」を理念に掲げるなど、両行は今後においても福井県の活性化をその使命・役割とする地域金融機関であり続けます。

2020年3月13日には、両行が相互の強みを活かし、お客さまの成長、発展のためこれまで以上に質の高いサービスを提供していくこと、また目前に迫る地域活性化の機会を最大限に活かし、地域の持続的発展に寄与していくため、両行の連携、協働を目的として「地域経済の発展に向けた包括提携（Fプロジェクト）」を開始いたしました。

両行は、包括提携に基づく連携、協働を進める中で、長期的な超低金利環境の継続や人口減少等の構造的な問題に加え、長引く新型コロナウイルスの感染拡大の継続など、厳しい経営環境の継続を見据え、Fプロジェクトの加速と深化、なかでも業務提携によるシナジー創出の早期実現と効果の最大化に向けた取り組みの加速のためには、資本提携の早期実現が必要であるとの認識を共有し、2021年1月14日付で資本提携に係る基本合意書を締結し、両行で具体的な協議を続けてまいりました。

そして本日、両行は資本提携に係る具体的な内容に合意したことから、本資本業務提携契約の締結に至りました。

両行は、本資本業務提携により引き続き地域における金融仲介機能を発揮してゆくために適切な自己資本を確保するとともに、F プロジェクトにおける業務提携の更なる加速・深化として、両行におけるシナジー創出の早期実現と効果の最大化が可能になると考えております。また、本資本業務提携後も両行の2ブランドを維持することで、それぞれの強みを活かした金融グループとして一層の地域経済の持続的発展への貢献や、これまで以上に質の高いお客さま向けサービスの提供に努めてまいります。

## 2. 本資本業務提携の内容等

### (1) 業務提携の内容

両行で合意している業務提携の概要は以下のとおりです。両行は、相互の強みを活かし、お客さまの成長、発展のため、これまで以上に質の高いサービスを提供していくこと、また目前に迫る地域活性化の機会を最大限に活かし、地域の持続的発展のため、F プロジェクトをさらに加速・深化させその効果を最大化させることを目指してまいります。

- ① お客さまに対して
  - (a) 商談会・セミナーの共同開催
  - (b) コンサルティングの機能強化
  - (c) ビジネスマッチング等の連携
  - (d) 事業承継・海外進出等の支援
  - (e) 商品・サービスの共同提案
- ② 地域に対して
  - (a) キャッシュレス社会実現に向けた推進
  - (b) 次世代経営者の育成支援
  - (c) 次世代金融サービスの提供
  - (d) 産学官・地域プロジェクトにおける連携
  - (e) 地域シンクタンクの強化
- ③ 効果的・効率的な業務運営に向けて
  - (a) 店舗戦略における連携（共同拠点）
  - (b) ATMの効率的な運用
  - (c) 本部機能、本部事務の共同化、共通化
  - (d) サブシステム等の共同利用
  - (e) 不動産の有効活用
- ④ 人の融合、未来に向けて
  - (a) 次世代を担う人財による協働企画を通じた職員同士の心の融合と相互の成長
  - (b) 地域価値向上に向けた推進企画
  - (c) 職員向け研修の共同開催

### (2) 資本提携の内容

本第三者割当増資および引受けの概要は、以下のとおりです。

＜本第三者割当増資の概要＞

① 払込日	2021年10月1日（予定）
② 募集株式数	普通株式 33,333,334 株
③ 払込金額	1株につき150円
④ 払込金額の総額	金5,000,000,100円
⑤ 福井銀行が取得する福邦銀行の議決権の数および議決権所有割合	議決権の数 33,333 個 議決権所有割合 51.98%

なお、本第三者割当増資は、株式会社整理回収機構が保有する福邦銀行の A 種優先株式 6,000,000 株の全てを福邦銀行が金銭を対価として取得し、当該 A 種優先株式の全ての消却が完了していることを前提としております。

本件本第三者割当増資の効力発生により、福邦銀行は福井銀行の連結子会社となる予定です。

### 3. 両行の概要

#### 【当事会社の概要（2021年3月末時点）】

名称	株式会社福井銀行	株式会社福邦銀行
所在地	福井県福井市順化 1 丁目 1 番 1 号	福井県福井市順化 1 丁目 6 番 9 号
代表者の役職 氏名	代表執行役頭取 林 正博	取締役頭取 渡邊 健雄
事業内容	銀行業	銀行業
資本金	179 億 65 百万円	73 億円
設立年月日	1899 年 12 月 19 日	1943 年 11 月 5 日
発行済株式数	24,144,669 株	31,800,000 株
決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
従業員	1,349 名	414 名
店舗数	98 店舗（うち有人 78 店舗）	39 店舗（うち有人 32 店舗）

#### 【直前事業年度の財政状態および経営成績（2021年3月期単体ベース）】

名称	株式会社福井銀行	株式会社福邦銀行
総資産	35,042 億円	4,852 億円
純資産	1,273 億円	206 億円
預金残高	27,837 億円	4,367 億円
貸出金残高	18,010 億円	3,131 億円
経常利益	31.2 億円	4.6 億円
当期純利益	20.2 億円	2.7 億円

### 4. 日程

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| (1) 両行取締役会決議日     | 2021年5月14日     |
| (2) 本資本業務提携契約締結日  | 2021年5月14日     |
| (3) 福邦銀行定時株主総会    | 2021年6月24日（予定） |
| (4) 本第三者割当増資の払込期日 | 2021年10月1日（予定） |

※上記日程は、各社において必要な株主総会・取締役会の機関決定および金融当局・公正取引委員会への届出、許認可の取得等を前提としております。

### 5. 今後の見通し

本第三者割当増資の実施により、福邦銀行は福井銀行の連結子会社となる予定です。福井銀行の連結業績への影響については、判明次第速やかに公表いたします。

以 上